

2019年 LDサポート・療育サポート・療育ソラアルSSE・PIA 放課後等デイサービス・児童発達支援ガイドライン自己評価表 まとめ

2020年3月20日

LDサポート・療育 ソラアルSSE
ソラアルPIA

(目的)

指定の保護者アンケートの結果より、当事業所のサービス提供上の満足度・不満足度および課題(改善目標)を抽出する。

(アンケート回収状況)

利用者への個人負担請求書にアンケートの趣旨・記入表を同封し、記入をお願いする。請求発生児童保護者ソラアルSSE全67名、ソラアルPIA全23名へのアンケート用紙配布。

| | | | |
|------|----------|-----|--------------------|
| (回収) | ●ソラアルSSE | 放デイ | 18通 |
| | ● | // | 児童発達支援 4通 |
| | ●ソラアルPIA | 放デイ | 11通 |
| | ● | // | 児発達支援 0通(利用者なしのため) |

(項目別の結果と課題)

A.【環境・体制整備面】

スペース・専門性・設備の安全性(①②③)に関して、放デイの全回答(SSE・PIA共)にて好意的な評価を頂けた。児発に関しては、一部「どちらとも言えない」の指摘がある。「安全性配慮」に関しては、ドアのヒンジ部や配置変更・器物の管理など、安全面の不安要素は改善が見られた。

周囲の環境面に関しては、駅までの明るい道順での送迎の徹底を図り、駅前交番への事業所周知の継続など、コメント面での不安意見は見られなかった。

B.【適切な支援の提供面】

放デイについて、「サービス計画」(④)、について、一部カリキュラムの分かりづらさの指摘があった(「どちらとも・・・」&「いいえ」がSSE・2/18通、PIA・2/11通、児発1/4通)。「活動プログラムの工夫」(⑤)に関しては、放デイ・児発とも特に不満点なし。各種関係については要望がやや高め(同SSE・6/18通、PIA・3/11通、児発3/4通)。

当所の方針として、毎日利用ではなく、登録利用者の人数対比で、継続的・専属的な対応が難しい面があり、現時点での要望対応は困難であるが、提携クリニックや、学校への関係実績など、当事者以外には説明してはいない部分も、匿名での内容面の所内掲示などの手段は必要かも知れない。

C.【保護者への説明等の面】

「わからない」回答で大きく目立ったのは、「保護者同士の連携」(⑩)である(同SSE・8/18通、PIA・4/11通、児発・3/4通)。保護者同席でのイベントは、ほぼ2ヶ月毎に行っているが、改まった保護者会等は行っていないためと考えられる。

また児童発達に関して、苦情対応や体制整備(⑪・・・同3/4通)及び、「意思疎通や情報伝達のための配慮」(⑫・・・同3/4通)が目立った。児童発達は、個別での療育活動が中心のため、対応するスタッフが固定化してしまう為だと考えられる。

D.【非常時等の対応面】

非常時・緊急時の説明(⑮)は「どちらとも」「いいえ」がSSE・6/18通PIA・4/11通、児発0/3通)。所内掲示はしているが、改めて説明用チラシの作成と配布、HPでの掲示が必要かも知れない。

訓練(⑯)に関しては、「どちらともいえない」がSSE・4/18通、PIA・2/11通、児発2/4通。訓練自体は、年に数回実施される町内の消防訓練対応と、夏休みの消防訓練などを行っているが、通所する子供たち全員の間では行えていない。実施、もしくは消防訓練の行事情報告知などを検討しても良いかも知れない。

E.【満足度面】

子どもの通所楽しみ(⑰)は、SSE・PIA・児発とも1通が「どちらとも言えない」回答。ほかはおおむね満足。15時以降の最大利用人数に空きがなく、また個別利用の必要な特性を配慮しての午前中時間設定など、処置法には再考の余地があるかも知れない。

※ 別設問として「2018年以降の利用希望」を設けているが、1通を除き、「利用継続」の回答。

【まとめ】

当施設が第一義で考えている「子どもが楽しみに通所しながら向上してゆく」に関する評価は得られているように見受けられる。

昨年より、SSE,PIAと2カ所運営と利用者増加になった分、スタッフ増強など進めてきたが、主に保護者の方個々とのコミュニケーション面のへ配慮や運営説明(こちらは掲示やお知らせ配布などの別手段が必要かも知れない)等に課題が残っている。